

2010年1月4日

三井住友海上グループホールディングス株式会社

2010年 年頭の辞

当社江頭社長の社員向けメッセージです。

本メッセージは、社長から衛星放送により全社員に向けて発信するものです。

全世界の三井住友海上グループの社員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

1. 当社グループを取り巻く諸環境

世界経済は、各国の金融緩和や財政政策などの景気刺激策により、世界同時不況に底を打ち、回復局面に入りましたが、依然としてドバイショックの影響等に引き続き注視していく必要があります。

また、今回の世界同時不況では、欧米や日本の経済がマイナス成長に陥った一方で、中国をはじめとする新興国経済は相対的に高い成長を続けており、その存在感が以前にも増してクローズアップされてきました。「G7からG20へ」と言われるように、欧米先進工業国が中心であった世界経済像も変わりつつあります。

日本国内に目を向けてみると、経済面では、景気回復局面に入ったとも言われますが、依然として低迷した状況にあります。現在の局面も景気刺激策による底上げ効果によるところもあり、まだまだ先行きが不透明な状況にあります。

また、国内保険市場は、日本における中長期的な大きな課題である少子高齢化、人口減少社会の到来や世界レベルでの気候変動・地球温暖化の進行によるリスクが増加し、また個人のライフスタイルの変化に伴うニーズの多様化も進んでいます。

こうした社会・経済環境の変化は、消費者ひいては社会全体の価値観、感性にも影響を与えてきており、事業活動における前提条件が変化してきているといえます。

私たちを取り巻く諸環境は変化しており、グローバルな舞台でビジネスを行う当社グループは、社会・経済動向の変化や先行きを正しく理解し、事業活動に取り組んでいく必要があります。

2. 2010年の抱負

本年4月、いよいよ「MS&AD」がスタートします。これまでもお話ししているように、経営統合の目的は、一層の品質向上と効率化を実現して**国内マーケットにおいて圧倒的な競争優位を確立し、同時に世界の有力プレーヤーに伍して戦っていく**ために、スピード感を持って飛躍的に事業基盤と経営基盤の質・量の拡大を実現することにあります。

環境の変化を捉え、自らの弱み・強みを踏まえた迅速かつ的確な事業運営を行なっていきます。また、社員一人ひとりには、これまでの経験を活かしながらも、新しい発想で自らのやるべきこと、求められる役割を考え、良い意味で過去のやり方・考え方に囚われることなく、責任を持って業務に取り組む必要があります。

これまで取り組んできた品質の向上によりお客さまの信頼を獲得、そして成長を実現する戦略に変わりはなく、質・量ともにさらなるレベルアップを図っていきます。

MS & ADは、規模では国内損害保険会社トップ、世界でもトップ10の一角を占めることとなります。さらなる品質向上、収益力の向上、成長力の強化、経営基盤の強化などの課題を解決し、チャレンジャーとして「世界トップ水準の保険・金融グループ」を目指していきます。

MS & ADでは、皆さんの活躍のステージはこれまで以上に確実に広がります。夢や働きがい、誇りを強く実感できる世界トップ水準の保険・金融グループを皆さんとともに創っていきたくて考えています。

3. 結びに

MS & ADのスタートまで3ヶ月となりました。当社グループの最終年度を有終の美で飾るとともに、新年度「MS & AD」として良いスタートを切るためにも、グループ各社がそれぞれの責任を果たし、トップライン、ボトムラインの年度末目標を確実に達成して行きましょう。そのためにも、皆さん一人ひとりが自らの力を存分に発揮し、大いに活躍されることを期待しています。

最後になりましたが、皆さん、そしてご家族の皆さんにとって、幸福と繁栄の1年になりますことを祈念して、私の年頭のメッセージとします。

以 上